

管理者コンソール > インポート&エクスポート

組織へのインポート

ヘルプセンターで表示:

<https://bitwarden.com/help/import-to-org/>

組織へのインポート

任意のパスワード管理ソリューションから簡単に移行するために、データを直接あなたの組織にインポートしてください。あなたは一つの組織から別の組織へインポートすることができ、管理者は自分の個人の保管庫から組織の保管庫へインポートすることができます。セキュリティを強化するために、暗号化されたエクスポートをインポートすることもできます。

サポートされているインポート形式の完全なリストについては、[このFAQアイテム](#)を参照してください。

💡 Tip

You can import new vault items directly into existing [collections](#) by appropriately conditioning your `.json` file before uploading it according to the steps in this article. [Learn how.](#)

あなたの組織にインポートしてください。

データはウェブアプリからBitwardenにインポートすることができます。データは、サーバーに保存する前にローカルで暗号化されます。組織にデータをインポートする：

1. Bitwardenのウェブアプリにログインし、製品スイッチャー (☰) を使用して管理者コンソールを開きます。

The screenshot displays the Bitwarden web application interface. On the left, a dark blue sidebar contains navigation options: 'Password Manager', 'Secrets Manager', 'Admin Console', and 'Toggle Width'. The main content area is titled 'All vaults' and features a 'New' button and a 'Product Switcher' icon (☰). Below the title is a 'FILTERS' section with a search bar and a list of vault types: 'All vaults', 'My vault', 'My Organiz...', 'Teams Org...', 'New organization', 'All items', 'Favorites', 'Login', 'Card', 'Identity', 'Secure note', 'Folders', 'No folder', 'Collections', 'Default colle...', 'Default colle...', and 'Trash'. The main list of vaults includes: 'Company Credit Card' (Owner: My Organiz...), 'Personal Login' (Owner: Me), 'Secure Note' (Owner: Me), and 'Shared Login' (Owner: My Organiz...). A red circle highlights the 'Product Switcher' icon in the sidebar, and a red arrow points to the 'Default collection' option in the filters menu.

製品-スイッチャー

2. 設定 → データをインポートに移動します。

bitwarden Admin Console

My Organization

Collections

Members

Groups

Reporting

Billing

Settings

Organization info

Policies

Two-step login

Import data

Export vault

Domain verification

Single sign-on

Device approvals

Import data

Destination

Collection
-- Select a collection --

Select this option if you want the imported file contents moved to a collection

Data

File format (required)
-- Select --

Select the import file

Choose File No file chosen

or copy/paste the import file contents

Import data

管理者コンソール インポート

3. 申し訳ありませんが、あなたの要求を理解するのが難しいです。
具体的なフィールドやドロップダウンメニューの項目を提供していただけませんか？

- **コレクション:** インポートされたコンテンツを既存のコレクションに移動させたい場合は選択してください。
- **ファイル形式:** インポートファイル形式を選択します。

4. **ファイルを選択**し、インポートするファイルを追加するか、ファイルの内容を入力ボックスにコピー/貼り付けしてください。

⚠ Warning

インポートすると、インポートするファイル内のアイテムがすでにあなたの保管庫に存在するかどうかは確認されません。複数のファイルをインポートするか、またはすでに保管庫にアイテムがあるファイルをインポートすると、これにより重複が作成されます。

5. **データをインポート**を選択して、インポートをトリガーします。パスワードで保護された **.json** ファイルをインポートする場合は、表示される **保管庫インポートの確認** ウィンドウにパスワードを入力してください。

添付ファイルは手動でポータルにアップロードする必要があります。

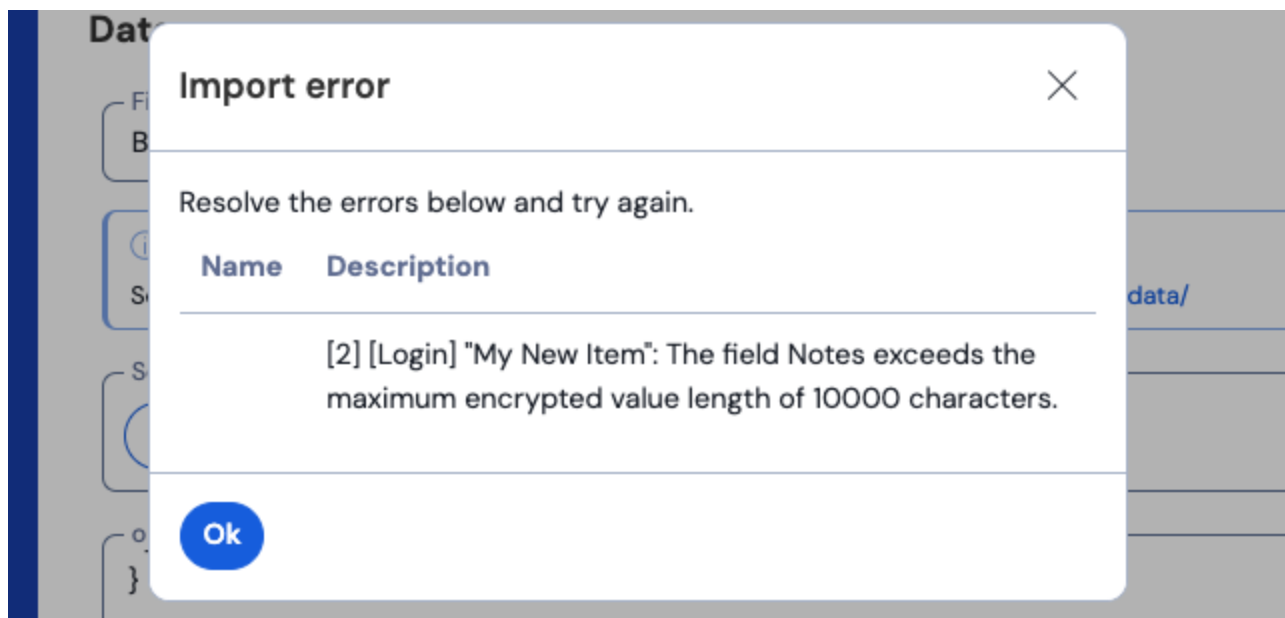
トラブルシューティング

添付ファイルのインポート

添付ファイルは現在、一括インポート操作に含まれていないため、手動でBitwardenの保管庫に移行する必要があります。添付ファイルの保存は、プレミアムユーザー、および有料の組織（ファミリー、チーム、またはエンタープライズ）のメンバーだけが利用可能であることにメモしてください。

長さに関連するインポートエラー

次のエラーメッセージは、通常、.csvをインポートしようとするときに受け取るもので、インポートファイル内のアイテムが、そのフィールドタイプの許容される暗号化文字制限を超える指定値を持っていることを示しています：



ウェブ保管庫の暗号エラー

この問題を解決するためには、テキストエディターやスプレッドシートプログラムで.csvファイルを開き、問題のあるアイテムの文字数を削除または減らしてください。Bitwardenは、違反がなくなるまであなたの.csvファイルをインポートしません。エラーメッセージの内容には、問題のあるアイテムを特定するのに役立ついくつかの関連データが含まれています。例えば、上記の例では：

- **[1]** は、問題のある項目が存在するインデックス番号を特定します。ほとんどのスプレッドシートプログラムの行番号と一致するように調整されます。
- **[ログイン]** は、問題のあるアイテムの保管庫アイテム**タイプ**を識別します。
- **「Facebook」** は問題のあるアイテムの**名前**を特定しています。
- **注**は、文字数制限を超えたフィールド (列) を示します。
- **10000** は、そのフィールド (列) に許可される文字制限を示します。

💡 Tip

インポート時に、任意のフィールドの文字数は暗号化により増加します。つまり、あなたの.csvの8000文字の**メモ**フィールドは、Bitwardenと接触すると10,000文字以上に増加し、このエラーを引き起こします。一般的なルールとして、暗号化されたときに文字数は30-50%増加します。

エラーで提供されたデータを使用して問題のあるアイテムを見つけるのに引き続き問題がある場合、このエラーの原因となることが多いメモに最初に焦点を当てると役立つかもしれません。

ファイルサイズのインポート制限

次のデータ制限を超えると、インポートが拒否される可能性があります：

- あなたのインポートには7,000以上のアイテムがあります。
- あなたのインポートに2,000以上のフォルダーがある場合。
- あなたのインポートには2,000以上のコレクションがある場合。
- あなたのインポートが7,000以上のアイテム-フォルダー関係を持っている場合（例えば、1つのアイテムが3つのフォルダーにある場合、3つのアイテム-フォルダー関係があると言えます）。
- あなたのインポートが14,000以上のアイテム-コレクションの関係を持っている場合（例えば、1つのアイテムが3つのコレクションにある場合、それは3つのアイテム-コレクションの関係があると言えます）。